

令和 6 年 6 月 24 日

**広島大学総合科学部創立 50 周年記念シンポジウム
「世界で活躍するひろだいそうか」の開催について**

広島大学総合科学部は令和 6（2024）年度に創立 50 周年を迎えました。7 月 20 日（土）14 時から 16 時半まで、広島大学サタケメモリアルホールにて、50 周年記念シンポジウムを開催します。総合科学部を卒業し、学術、企業、マスコミ、行政などさまざまな分野の第一線で活躍する、世代を異にするスピーカー 9 人を招へいし、総合科学部の 50 年を振り返るとともに、既存の学問分野の枠にとらわれない学びと研究を推進してきた総合科学部が、現代世界において果たすべき役割について討論します。

入場料は無料で申し込みは不要です。広島大学へ入学を希望する高校生、大学生、地域の方、学際教育・研究に関心のある方、同窓生など、多くの方のご来場をお待ちしております。

日時：7 月 20 日（土）14:00-16:30

場所：広島大学サタケメモリアルホール

プログラム：

14:00 山田俊弘総合科学部長挨拶

14:05 第一部 「世界で活躍するひろだいそうか-スピーカーによる 5 分間スピーチ-」

◆ひろだいそうかスピーカーのご紹介

井手雅春氏 株式会社広島ホームテレビ常務取締役

石橋留美子氏 益田市匹見町まちづくりコーディネーター

コモルシリグン・グリット氏 株式会社 Wayfarer 勤務

前延国治氏 東広島市副市長兼広島中央環境衛生組合副管理者

村上清貴氏 株式会社村上農園代表取締役社長

湯浅梨奈氏 株式会社中国新聞社記者

フंक・カロリン 広島大学総合科学部教授

坂田桐子 広島大学総合科学部教授

片山春菜 広島大学総合科学部助教

15:15 第二部 総合討論「ひろだいそうかの 50 年-現代世界と総合科学の可能性-」

16:25 坂田桐子総合科学科長挨拶

入場料：無料

事前申込：不要

対象：どなたでもご参加いただけます

【お問い合わせ先】

広島大学総合科学系支援室（総務担当）

TEL:082-424-6306

E-mail:souka-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp





ひろだいそうか
せかいにひとつ



広島大学総合科学部創立 50 周年記念シンポジウム 50th Anniversary Symposium of the School of Integrated Arts and Sciences

世界で活躍するひろだいそうか HIRODAI SOKA: Tackling Global and Local Challenges

プログラム

- 14:00 はじめに 山田 俊弘 総合科学部長
14:05 第一部 「世界で活躍するひろだいそうか—スピーカーによる 5 分間スピーチ—」
15:00 休憩
15:15 第二部 総合討論「ひろだいそうかの 50 年—現代世界と総合科学の可能性—」
16:25 おわりに 坂田 桐子 総合科学科長 ※同時通訳有り Simultaneous Interpretation Available

日時

2024年 7月 20日 土

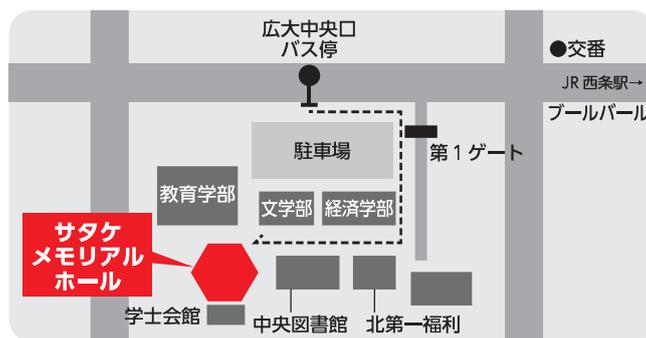
14:00~16:30

入場料無料・事前申込不要

場所

広島大学サタケメモリアルホール

〒739-0046 東広島市鏡山一丁目 2 番 2 号
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/memorialhall/access>



問い合わせ先

広島大学総合科学系支援室 (総務担当) TEL 082-424-6306
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/souka>

世界で活躍する ひろだいそうか スピーカーのご紹介



フンク・カロリン

(H10(1998)地域文化コース着任)

総合科学部教授。2024年度より国際共創学科長。専門は観光地理学、特に持続可能な観光発展と島における観光について研究・教育している。

FUNCK Carolin
Professor, School of Integrated Arts & Sciences
Head of Department of Integrated Global Studies



前延 国治

(S51(1976)入学, 環境科学コース卒)

東広島市副市長兼広島中央環境衛生組合副管理者。1980年度東広島市役所入庁。1980年から1981年まで広島県都市計画課へ派遣。2002年から2003年まで黒瀬町出向。生活環境部長、企画振興部長、総務部長を歴任。

MAENOBE Kuniharu
Deputy Mayor of Higashihiroshima
Vice director of Hiroshima Chuo Environmental Sanitation Association



井手 雅春

(S55(1980)入学, 社会文化コース卒)

株式会社広島ホームテレビ常務取締役。1984年朝日新聞社入社。広島総局長、大阪本社社会部長、論説副主幹、東京本社編成局長補佐、西部本社編集局長を経て2019年6月から現職。記者時代は主に検察、裁判など司法分野を取材。日本弁護士連合会市民会議委員(副議長)、大阪地方裁判所委員を務めた。現在はビジネス・編成部門を担当している。

IDE Masaharu
Managing Director
Hiroshima Home Television Co.,Ltd.



村上 清貴

(S54(1979)入学, 社会文化コース卒)

村上農園代表取締役社長。1996年「O-157 風評被害」による主力のカイワレの激減を、豆苗、ブロッコリースプラウトの開発で急成長企業に。2019年「EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー・2019 ジャパン」中国地区代表。

MURAKAMI Kiyotaka
CEO & COO, MURAKAMI FARM CO.,LTD



石橋 留美子

(H3(1991)入学, 地域文化コース卒)

益田市の受託で、2008年度から益田市匹見町まちづくりコーディネーター。2020年度以降は、美都および匹見地域を活動エリアに益田市まちづくりコーディネーター。情報発信や関係人口の拡大、地域活性化を担う。

ISHIBASHI Rumiko
Community Building Coordinator,
Masuda City Office

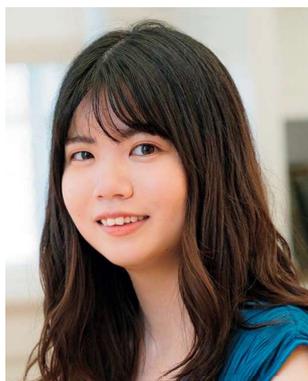


坂田 桐子

(S58(1983)入学, 情報行動科学コースIII群卒)

総合科学部教授。2024年度より総合科学科長。専門は社会心理学。特にリーダーシップと集団、ジェンダーとダイバーシティについて研究・教育している。

SAKATA Kiriko
Professor, School of Integrated Arts & Sciences
Head of Department of Integrated Arts and Sciences



片山 春菜

(H27(2015)入学, 自然探究領域・物性授業科目群卒, 院・総合物理研究領域修了)

先進理工系科学研究科助教。専門は量子論。直接観測が難しい宇宙で起きる現象を、実験室系で擬似的に再現するシステムの提案を行っている。

KATAYAMA Haruna
Assistant Professor, Graduate School of Advanced Science and Engineering



湯浅 梨奈

(H26(2014)入学, 自然環境科学プログラム卒, 院・21世紀プロジェクト群修了)

2019年中国新聞社入社。警察担当や備後本社勤務のほか、広島平和メディアセンターで原爆・平和の話題やG7サミットの報道などを担当。現在は編集センターで、記事や写真データを紙面に仕立て、見出しをつけて読者に届けている。

YUASA Rina
Writer, Chugoku Shimbun, Editing Department



コムルシリグン・グリット

(H30(2018)入学, 国際共創学科卒)

株式会社 Wayfarer 勤務。国際共創学科で培ったコミュニケーション能力と観光学の知見を駆使し、旅行業界にてオペレーションコーディネーターとして活躍中。

KOMOLSIRIKUL Krit
Operation Coordinator, Travelling Operating Office
WAYFARER K.K.



総合討論司会

青木 利夫

(H10(1998)人間文化コース着任)

総合科学部教授。2020年度から2023年度まで総合科学科長。専門はラテンアメリカ近現代史。とくに、メキシコの教育や文化の歴史について研究している。

AOKI Toshio
Professor, School of Integrated Arts & Sciences

第 168 回 学長定例記者会見 お知らせ事項 1

令和 6 年 6 月 24 日

第 24 回 太陽エネルギーの光化学的変換と貯蔵に関する国際会議 (IPS-24)
および人工光合成国際会議 2024 (ICARP-2024)

太陽エネルギーの光化学的変換と貯蔵に関する国際会議(IPS)は、第一次オイルショックを契機に、1974年に米国マサチューセッツ州ボストンにて開催された国際会議が第一回になります。その後、世界各国でほぼ隔年で開催され、今回は会議発足から50周年を迎える記念大会になります。

本国際会議に関連するテーマは人工光合成や次世代太陽電池の研究など世界各地で活発に研究されており、日本が世界をリードしている状況にあります。日本での開催は、この分野のさらなる活性化に寄与する機会となります。

今回は規模を拡大し、IPS-24に加え人工光合成国際会議2024も同時開催し、世界各国から、ノーベル賞受賞候補者を含む著名研究者の招待講演に加え、世界最先端の研究成果が数多く発表されます。

本件は、人工光合成の分野、特にCO₂有効利用で著名な石谷治(大学院先進理工系科学研究科 特任教授)が議長を、安倍学(同 教授)が副議長を務めることとなりました。本学のCN(カーボンニュートラル)に対する存在感を学外に示す絶好の機会となります。

開催日程：令和6(2024)年7月28日～8月2日

会場：広島国際会議場

参加予定者：約500人

ウェブサイト：<https://www.ips24.jp/index.html>

【お問い合わせ先】

大学院先進理工系科学研究科 特任教授 石谷治
TEL:082-424-7340
Mail:iosamu@hiroshima-u.ac.jp





IPS-24/ICARP2024

24th International Conference on Photochemical Conversion and Storage of Solar Energy
International Conference on Artificial Photosynthesis-2024 (ICARP2024)



July 28 - August 2, 2024 HIROSHIMA, JAPAN

July 28th - Aug 2nd, 2024
@International Conference Center Hiroshima

Conference Website : <https://ips24.jp/index.html>

This **IPS-24** is the third IPS conference held in Japan (1984 Osaka and 2002 Sapporo). The IPS conferences have offered and offers a versatile platform to discuss the latest advances in renewable energy and storage research and enhance regional and international collaborations. The ICARP conference series of which main target is artificial photosynthesis and has been hosted by Consortium of All Nippon Artificial Photosynthesis Project for Living Earth (**CanApple**) and Innovation for Light-Energy Conversion (**I4LEC**) project, were held three times in Japan since 2014. We hope that this cosponsorship contributes to increase the activities in this important research fields for human beings.

Specifically, topics of interest include but are not limited to:

1. Photoelectrochemical conversion and photodevices
2. Photocatalysis and photochemical reactions
3. Emerging photovoltaics (perovskite solar cells, dye-sensitized solar cells, OPV, and QD's)
4. Artificial photosynthesis and natural photosynthesis
5. Biofuels from photosynthesis and biomass energy
6. Energy storage materials, devices and applications (battery and hydrogen production)
7. Molecular and biomimetic photosystems
8. Small molecular activation for solar energy storage

~ Local Organizing Committee ~

Osamu Ishitani (Chair), Hiroshima University
Hiroshi Segawa (Co-Chair), The University of Tokyo

Hitoshi Tamiaki (Vice Chair and Charge of ICAR-2024), Ritsumeikan University

Manabu Abe (Vice Chair), Hiroshima University
Teruhisa Ohno (Vice Chair), Kyushu Institute of Technology

Akihiko Kudo, Tokyo University of Science
Mitsuaki Komoto, Hiroshima University

Contact : secretariat@ips24.jp

